



平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成17年1月31日

上場会社名 株式会社シモジマ

(コード番号：7482 東証第1部)

(URL <http://www.shimojima.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長
下島 淳延

(TEL:(03) 3862 8626)

責任者役職・氏名 取締役経理部長
谷中 浩三

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
税金費用の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。
最近会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 無
持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年12月31日）

(1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	30,643	3.5	2,884	7.9	3,124	4.2	1,698	4.0
16年3月期第3四半期	29,614	2.4	3,133	6.9	3,260	9.1	1,769	9.2
(参考)16年3月期	39,026	3.6	4,104	6.1	4,251	8.6	2,296	6.7

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第3四半期	84.73	
16年3月期第3四半期	89.92	
(参考)16年3月期	113.94	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期(平成16年4月1日～平成16年12月31日)におけるわが国経済は、企業業績の改善や設備投資の増加など景気の回復傾向が見られますが、米国及び中国を中心とした海外経済の成長鈍化や原油の高止まり、更に円高など、景気の先行きに不透明感を残しております。当社の関連する流通業界におきましては、上期の猛暑による特需も限定的なものに止まり、個人消費の本格的な回復までには至りませんでした。

このような状況のもと、当社は「お客様のニーズ」に迅速かつ的確にお応えすることを経営理念として商品開発および提案型営業を展開してまいりました。

営業販売部門におきましては、フランチャイズチェーン政策(「パッケージプラザ」事業)における当第3四半期の新規出店は7店舗、退店4店舗、増床を含めたりリニューアルは12店舗おこないました。この結果、当第3四半期末の店舗数は272店舗となりました。スーパーバイザーによる定期的な店舗指導のほか、定期的な統一売り出し「ビッグセール」をおこない、売上高の増進を図りました。ディーラールートでは、生花・園芸及び花材業界への販売が引き続き好調に推移し、更に食材卸業界への販売ルートも拡大しております。ユーザールートでは、大手量販店等がリバースオークションによる入札システムを導入したことで、販売価格の下落に伴う売上高の減少があったものの、提案型営業による専門店への新規開拓が順調に進み、特にアパレル、スポーツ用品、音楽映像ソフト販売ルートへの取引拡大および売上高の増加を達成しております。この結果、営業販売部門の当第3四半期売上高は195億48百万円(前年同期比6.0%増)となりました。

直営店販売部門につきましては、従来の繊維問屋街及び生鮮市場内の店舗が苦戦するなか、立地に恵まれ、業務用食材を取り入れた幅広い品揃えにより新しい顧客層の開拓に成功いたしました名古屋店が売上げを伸ばしております。また、通販部門は関東、関西ともに順調に売上げを伸ばしております。この結果、直営店販売部門の当第3四半期売上高は110億95百万円(前年同期比0.7%減)となりました。

これらの結果、全社の当第3四半期売上高は306億43百万円(前年同期比3.5%増)となりました。

利益面では、海外・国内ともに化成品の原料価格が高騰し、販売価格への転嫁も限定的であったことや、粗利率の高い直営店販売部門の売上高の伸びよりも営業販売部門の売上高が伸びたことにより、全社の売上原価率は若干上昇いたしました。販売費及び一般管理費につきましては、上期において直営パッケージプラザ、プロパック及び台湾支店の5店舗の新規開店に伴い、人件費及び諸費用が増加いたしました。また、小口配送の拡大により物流費が増加いたしました。

この結果、当第3四半期の営業利益は28億84百万円(前年同期比7.9%減)、経常利益は31億24百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	29,798	24,489	82.2	1,212.02
16年3月期第3四半期	27,449	22,157	80.7	1,126.69
(参考)16年3月期	27,835	22,447	80.6	1,138.63

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	43	311	48	4,218
16年3月期第3四半期	862	2,382	569	3,265
(参考)16年3月期	2,555	2,910	544	4,438

〔財政状態の変動状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期の財政状態は次の通りであります。(金額の比較は何れも平成16年3月期末との比較であります。)

総資産は、19億85百万円増加し、298億20百万円となりました。主な変動要因は、需要期にかかわる売上増加により売掛金と受取手形の15億24百万円及び商品・原材料の2億42百万円増加等によるものであります。

負債は、87百万円減少して、52億99百万円となりました。主な変動要因は、法人税の納付により未払法人税等が5億26百万円減少し、一方買掛金が3億32百万円増加したものであることによるものであります。

この結果前期末80.6%でありました株主資本比率は、当第3四半期末では82.2%となりました。

当第3四半期における現金及び現金同等物は、前期末と比較して2億20百万円減少して42億18百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動による資金は、43百万円増加(前第3四半期は8億62百万円の増加)いたしました。主な要因は、営業収入306億44百万円、利息および配当金の受取と家賃等の賃貸収入で3億8百万円ありましたが、原材料、商品の仕入による支出で214億34百万円、人件費の支出で36億9百万円、その他の販売管理費38億60百万円、法人税等の支出19億13百万円あったこと等によるものであります。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動による資金は、3億11百万円減少(前第3四半期は23億82百万円の減少)いたしました。主な要因は、賃借物件であった寮、社宅と東部配送センター第2倉庫の買取りと機械設備、新店舗の造作設備への投資によるものであります。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動による資金は、48百万円増加(前第3四半期は5億69百万円の減少)いたしました。主な要因は、自己株式540千株の売出しによる売却収入6億48百万円と、期末配当金、中間配当金5億99百万円の支出によるものであります。

【参 考】

3. 平成17年3月期の業績予想(平成16年4月1日 ~ 平成17年3月31日)

今後も原料高による売上原価率の上昇と第1四半期に新規出店いたしました直営店5店舗の経費増が続くことから通期業績予想を前回発表時(平成16年11月11日)から次のとおり変更いたします。

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たりの予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	40,000	3,960	2,110	104.38

注) 1株当たりの予想当期純利益は、平成16年3月期末株式数20,214,855株で算出しております。

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかるリスクや不確定要素により実際の実績が記載の予想値と大幅に異なる可能性があります。

[添付資料]

1 . (要約) 四半期貸借対照表

(単位 : 百万円、 %)

科 目	当四半期 (平成17年3月 期第3四半期末)	前年同四半期 (平成16年3月 期第3四半期末)	増 減		参 考 (平成16年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産	14,634	12,814	1,820	14.2	12,739
現金預金	4,100	3,085	1,015	32.9	4,258
受取手形	1,107	1,001	106	10.6	770
売掛金	4,516	4,410	106	2.4	3,329
たな卸資産	3,892	3,443	449	13.0	3,650
繰延税金資産	175	188	12	6.9	214
その他	843	690	152	22.2	521
貸倒引当金	1	4	3	75.0	4
固定資産	15,163	14,635	528	3.6	15,095
有形固定資産	11,318	10,843	474	4.4	11,263
無形固定資産	58	57	1	1.8	56
投資その他の資産	3,786	3,734	52	1.4	3,774
繰延税金資産	149	139	9	7.2	142
再評価に係る繰 延税金資産	2,259	2,259			2,259
その他	1,387	1,354	32	2.4	1,388
貸倒引当金	9	19	10	52.6	15
資産合計	29,798	27,449	2,348	8.6	27,835
(負債の部)					
流動負債	4,624	4,645	20	0.5	4,746
支払手形	371	383	11	3.1	305
買掛金	2,556	2,508	47	1.9	2,223
未払金	447	418	29	6.9	333
未払法人税等	804	912	107	11.8	1,323
その他	444	422	21	5.2	561
固定負債	683	646	37	5.7	640
預り敷金保証金	234	226	7	3.5	228
退職給付引当金	69	57	12	21.1	47
役員退職慰労引当金	380	362	17	5.0	364
負債合計	5,308	5,291	16	0.3	5,387
(資本の部)					
資本金	1,405	1,405			1,405
資本剰余金	1,304	1,273	31	2.4	1,273
利益剰余金	25,039	23,360	1,679	7.2	23,641
土地再評価差額金	3,293	3,293			3,293
その他有価証券評価 差額金	44	38	5	15.8	47
自己株式	10	626	616	98.4	626
資本合計	24,489	22,157	2,332	10.5	22,447
負債・資本合計	29,798	27,449	2,348	8.6	27,835

2.(要約)四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成17年3月 期第3四半期)	前年同四半期 (平成16年3月 期第3四半期)	増 減		参 考 (平成16年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	30,643	29,614	1,029	3.5	39,026
売上原価	20,526	19,617	908	4.6	25,850
売上総利益	10,117	9,996	120	1.2	13,175
販売費及び一 般管理費	7,232	6,862	369	5.4	9,071
営業利益	2,884	3,133	249	7.9	4,104
営業外収益	310	209	101	48.3	288
営業外費用	71	82	11	13.4	141
経常利益	3,124	3,260	135	4.2	4,251
特別利益	39	8	31	387.5	9
特別損失	36	10	26	260.0	10
税引前四半期 (当期)純利益	3,127	3,258	131	4.0	4,250
税金費用	1,429	1,489	60	4.0	1,953
四半期(当期) 純利益	1,698	1,769	71	4.0	2,296

3.(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成17年3月 期第3四半期)	前年同四半期 (平成16年3月 期第3四半期)	参 考 (平成16年3月期)
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	43	862	2,555
投資活動によるキャッシュ・フロー	311	2,382	2,910
財務活動によるキャッシュ・フロー	48	569	544
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	14	31
現金及び現金同等物の増加額	220	2,104	931
現金及び現金同等物の期首残高	4,438	5,369	5,369
現金及び現金同等物の期末残高	4,218	3,265	4,438